

## 事務局ニュース06-NO.3 2006.8.11 埼玉県学童保育連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

048-644-1571 FAX 048-644-1572

http://www.geocities.jp/saitama\_gakudou/ Eメール gakoudoust@yahoo.co.jp

【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

## 報告事項

### 1, 県の「次世代子育て応援計画推進協議会」開催 「放課後子どもプラン(仮称)」について県の態度を質しました

7月18日、知事公館にて今年度第1回目の標記会議が開催されました。県連協から選出されている事務局の森川から、「放課後子どもプラン(仮称)」の問題について「2つの事業が連携することは賛成だが、一体化ということになると、役割の異なるものを一つの施設で実施することになり混乱が生じる」と県の考えを質しました。それに対して林敏宏子育て支援課長が以下のように回答しました。

厚生労働省の考えを以前お聞きした段階では、大きく放課後児童クラブの補助事業をなくしたとか、文部科学省の事業と一体化してしまうという所までは考えていないようで、どちらかという連携に近い考え方。しかしそれも担当課レベルの話ですので、また国の方から予算要求の段階までには出てくるのではないかと。県としては、そういうものをふまえて考えざるを得ないが、埼玉県は、従来から、先進県として設置も他県に比べて伸ばし、基準面についても何とかご協力を得ながら環境の向上に努めさせていただいているので、こういった流れがさらに一層伸びるような方向での見直しをしていただきたいと国にはお願いしている。最終的には国の制度の一環なので、万が一大きな見直しがされればそれに対応せざるを得ないが、県としては、従来から学童保育としてとりこんできたところを生かして引き続きやっていきたいと思っております。

### 2, 放課後児童クラブ(学童保育)指導員研究会 06年度の会議がスタート

この機関は、県の「次世代子育て応援計画=子育てコバトプラン」(下の枠内参照)の具体化として、昨年度から、埼玉県、埼玉大学、県連協(県指導員連協も含める)の3者でスタートしたもので、第1回を9月に開催する予定です。

指導員研修カリキュラムや指導員の認証制度の検討

- ・指導員の資質の向上を図るため、行政、関係団体、大学等の関係機関の連携により、指導員の研修カリキュラムを作成します。
- ・指導員研修の受講終了について、県独自に認証する仕組みについて検討します

すでに、県子育て支援課が、都道府県主催の研修会について調査を終え、また埼玉大学が、全国200の市町村に対して、自身が実施ないし把握している研修会について調査を終え、現在、それぞれ集計中です。今回の会合ではその結果を分析します。

これに続いて、県連協が、全国いくつかの地域を選んで直接指導員に対して、これまでに受講してきた研修会の内容 必要だと思われる研修内容を把握する調査を予定しています。

三者で一定期間協議をした(期間は未定)後に、外部委員も加わる形で、最終的には、県庁が関わる形の研修カリキュラムとそれを認証する仕組みをつくっていく計画です。

### 3, 日本共産党国会議員、県会議員と懇談しました

7月13日 薄井(会長) 森川(事務局) 羽澤(同)が出席し、県及び国の2007年度予算要求についての要望内容を伝えました。今後、他の政党・会派との懇談も予定されています。

## (^0^)^ お知らせ・お願い (^0^)^

### 1, 県庁が「新たな5カ年計画」策定に向け「大綱」を発表

意見を届けましょう タウンミーティングに参加しましょう

埼玉県は、現行の県の総合計画である「彩の国5か年計画21」(2002~2006年度)を見直し今後の県政運営の指針となる新たな5か年計画(平成2007年度~2011年度の計画期間予定)を策定中です。埼玉新聞によると、その「大綱」が8日、発表されました。

学童保育についての記述は以下の通りです。

全文は[http://www.pref.saitama.lg.jp/A02/B100/sogokeikaku/taikou\\_mokuji.html](http://www.pref.saitama.lg.jp/A02/B100/sogokeikaku/taikou_mokuji.html)で見ることができます。

「埼玉安心戦略 次世代の力育成戦略」に「...保育サービスの提供を拡大します。さらに、すべての小学校区に放課後児童クラブの設置を支援するなど、子どもを安心して預け、働くことができる環境を整備します」  
「分野別施策」の「福祉・労働・健康の分野」-「子どもを生み育てやすい環境を整備する」-「1301子育て支援」の主な取組に「放課後児童クラブの整備支援」

県では、この「大綱」に対して意見を募集しています。また、8月20日から9月1日にかけて県下4地域で「知事ととことん語ろう埼玉タウンミーティング」という催しも開催します(別添 各学童保育1部)。

「大綱」に対して、地域連絡協議会・学童保育から意見を届けましょう。もちろん一県民としてでもかまいません。

お近くで開催されるタウンミーティングに参加して、意見を直接知事に届けましょう。

2, 合宿研の夜は県連協第2回代表委員会。

すべての地域からご出席下さい！【再掲】

9月9日(土) 19:00~

於埼玉県県民活動総合センター

【議題】(1) 2007年度県予算についての県との話し合いの内容と進め方(2) その他

3, 合宿研究会(9月9~10日)へすべての

地域・学童保育からご参加を！【再掲】

宿泊を伴う場合は8月25日までに(30人)

日帰りの方もなるべく9月1日までにお申し込みを。

「放課後子どもプラン」と関わって市町村行政、議会、教育委員会等の動きをつかんで下さい。

併せて、文部科学省の「地域子ども教室」の動きもつかんでください(右参照)。

4, 第34回指導員学校の日程、会場が決定しました

10月1日(日) 於埼玉県立大学

全体講義は、「今どきの子どもを考える ~電話相談の窓口から~」

講師は、安達倭雅子さん(チャイルドライン支援センター常務理事)

5, 全国研(10月28日~29日、於愛知県)へ前回愛知開催時(1996年)以上の参加をめざそう！

チラシは『学童はいく』誌7月号。必要な場合はお知らせ下さい。

6, 県連協の会費をなるべく9月末までにご納入ください

7, 『研究集会資料集』を各学童保育2部以上ご購入下さい【再度】

下の用紙にてFAX、ないしEメール(gakudoust@yahoo.co.jp)にてお知らせ下さい。

8, 新刊『学童保育ハンドブック』(税込1,600円)をご活用下さい【再度】

1冊に付き、1割(160円)を還元します。積極的にご活用下さい。

下の用紙にてFAX、ないしEメール(gakudoust@yahoo.co.jp)にてご注文下さい。

上記7 『研究集会資料集』(1,000円)希望部数

『県研究集会資料集』を

部送って下さい。

上記8 『学童保育ハンドブック』注文票

定価 1,600円(本体1,524円+税)から1割引 +送料290円

注文票

冊

FAX送信書 048(644)1572 Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

9月4日までに、市町村の役場、教育委員会等から情報を集めて、送って下さい

埼玉県学童保育連絡協議会 行き

\*この夏以降、「放課後子どもプラン問題」への対応が迫られます。9月の県連協主催の合宿研でもこの問題を討議します。ついては、以下について貴市町村の状況をお調べ下さい。

1. 「放課後子どもプラン」と関わる市町村行政、議会の動きがあればお書き下さい。  
市町村にどの程度情報が届いているか? 市町村の受け止め方  
議会において質問があったか? どのような内容の質問だったか? 行政の回答など

2. 「地域子ども教室」の実態を聞かせて下さい  
小学校数 地域子ども教室実施箇所総数 実施場所(例、小学校体育館、公民館等)  
実施回数(例、月1回) 実施主体(例、学校、PTA等) 参加人数(募集人数+実際の利用人数) 内容 当事者の声(子どもたち、実施者など)  
学童保育との関わりがある・ない(例、学童保育の児童も一緒に参加)

3. 地域連絡協議会・学童保育のとりくみ・動き  
市町村へ要望を出した、計画している 学習会を行った。計画している。

4. 今回の「放課後子どもプラン(仮称)」「地域子ども教室事業」と「放課後児童クラブ」を一体的あるいは連携して実施する)の問題について意見・感想・要望などありますか?

この問題と関わって、行政、議会、教育委員会、学校、地域連協・学童保育の資料などがあれば、FAXなどの方法で送って下さい。一応の〆切=9月4日